



2016 年 12 月 26 日 第一生命ホールディングス株式会社 ネオファースト生命保険株式会社



ふくおかフィナンシャルグループおよびiBank社との提携について

第一生命ホールディングス株式会社(社長:渡邉 光一郎)および傘下のネオファースト生命保険株式会社(代表取締役社長:徳岡 裕士)は、株式会社ふくおかフィナンシャルグループ(代表取締役社長:柴戸 隆成、以下 FFG) および傘下の iBank マーケティング株式会社(代表取締役社長:永吉 健一、以下 iBank 社)との間で、FFG および iBank 社が展開する金融サービスプラットフォーム『iBank(アイバンク)』を活用した商品・サービスの開発・提供、各種マーケティング領域における提携を共同で進めることに関し、本日付で基本合意書を締結しましたので、お知らせします。

1.基本合意の目的

第一生命グループでは、2016 年1月より、保険ビジネス(Insurance)とテクノロジー(Technology)の両面から生命保険事業独自のイノベーションを創出する取組みを"InsTech"(インステック)と銘打ち、最優先の戦略課題としてグループ全体で推進しており、他業態と連携したエコシステムの実現等も視野に入れ、外部の開発力やアイデアを積極的に取り入れながら生命保険業界全体のイノベーションをリードしていくことを目指しています。

その一環として、ネオファースト生命では、第一生命が持つ約 1,000 万人のお客さま情報を含む医療ビッグデータ 等の解析を行い、リスク細分型の商品や、「保険で健康になろう。」をコンセプトにお客さまの健康増進の促進・支援 につながり、健康寿命の延伸に貢献できるような新しい商品の開発を進めています。

FFG では「お客さま起点」から始まるサービスイノベーションの創出に向けた、"FinTech(フィンテック)"への取組みとして、2016 年 4 月に、金融サービスプラットフォーム『iBank』を立ち上げました。その中核プロダクトとして、iBank社が運営するスマートフォン専用アプリ『Wallet+(ウォレットプラス)』では、スマホ/モバイルファースト時代に即した新しいマネーサービスの提供を進めています。また、様々な業界・業種の事業パートナー(異業種)との連携によるエコシステム型のビジネスモデルを構築し、個人のお客さまには、金融と非金融が融合した新しい体験を、法人のお客さまには、これまでにないマーケティングの機会を提供することを目指しています。

本提携により、第一生命グループが推進する「InsTech(インステック)」によるテクノロジーを活かした商品・サービスと、FFGが有する FinTech による金融サービスプラットフォームを通じて、新たな提供価値を共創し、両グループのお客さまに提案していきます。

2.取組み内容

- iBank社が運営するお金管理アプリ『Wallet+』において、第一生命グループのInsTechによる知見を活用しながら、お客さま(=アプリのユーザー)の特性にあったアプリ専用の保険商品やサービスを開発・検討
- 第一生命グループが持つ保険・健康分野における知見を活用し、健康増進をはじめとする各種情報コンテンツ等を提供

まずは、2017 年2月を目処に、『Wallet+』内において、生活習慣の改善など、ネオファースト生命による健康寿命延伸に向けた情報コンテンツの提供を開始し、その後、第一生命グループのノウハウを活用した商品・サービスの共同開発を検討していきます。

『iBank』とは

銀行ならではの金融機能(決済・貯蓄等)に加え、ライフスタイル/ライフイベントに隣接する非金融サービスの領域もカバーする金融サービスプラットフォームの呼称です。

具体的には、スマートフォン上に登録した銀行口座の収支管理や目的別に貯蓄ができるお金管理アプリの『Wallet+』、お金と上手に付き合うために読むだけでトクをする生活情報コンテンツの『mymo+』、『Wallet+』に登録した口座と直結した現金感覚の決裁カード『Debit+』といったサービスプロダクトから成り立っています。

- ※『Wallet+』は、アプリのリリースから5か月間で約4万のダウンロード実績があり、そのユーザー数を順調に伸ば しています。
 - iBankが提供するサービスプロダクト群(概要)



残高照会・収支管理機能に加え、旅行や車購入などの夢や 目的別に貯金を管理する機能などを提供



ライフイベントや、日常のライフスタイルに関するちょっとお得 で、ちょっと賢い生活情報を配信



銀行口座から、残高の範囲でお支払ができる現金感覚のキャッシュレスでのカード決済機能を提供

以上